

Gokan: (No. 004)  
Muromachi Genji.  
Part 2. Book 9---16.

13  
3718  
5

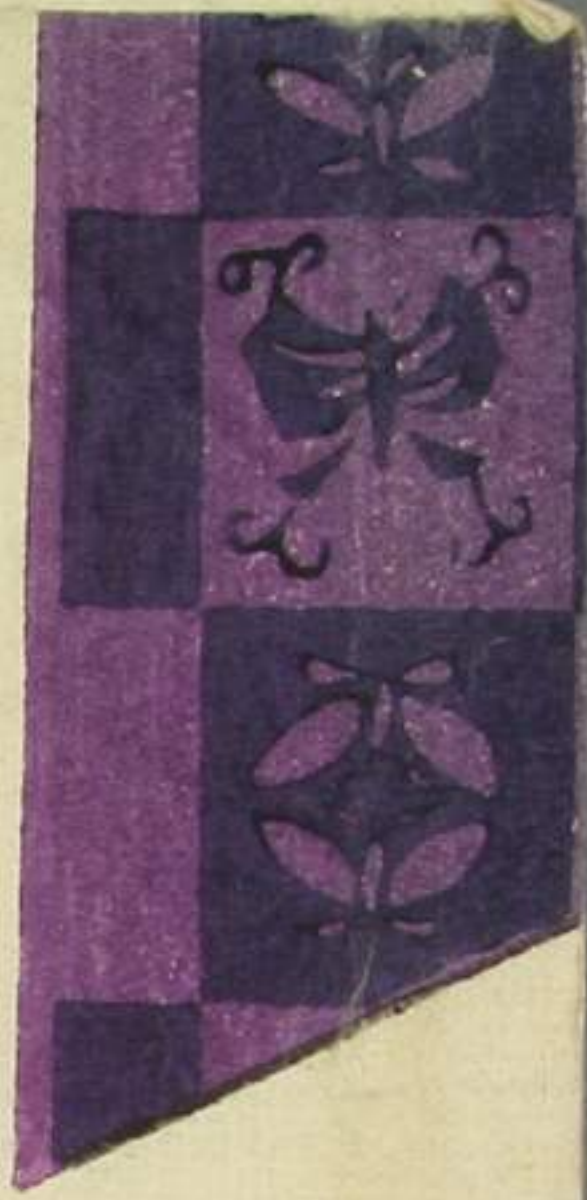




花鳥文



九篇上







福乃化  
國貞運

小峰建九郎  
室千太郎氏

上田



五  
子  
三  
子  
様

余恒云凡蟲とり物世は用あり

いと掃あり。蚤虱。天厭。蚊。蠅。い

りとより。馬蚊。蜘蛛。害いあり

喜子の習ありも入る利あり。

貴方の外あり。蜜ある蜂は毒汁あり。悪血を吮

銜し鮮血も吸ふ。唯害多くて大益あり。絲を生むる

蠶の此蟲の巨功あり。諸蟲の無用を贖ふ。此表化して蝶となる

蝶も無益の物なれど。飛交風情憎くも。又夏虫の尻焼も地さるる

闇夜を彩り。羅は裏て亦涼し。松蟲鈴虫の類も此定とまるといふの

其秋野の草冊子虫あり。此等あるも。聲もあけ。又光る。形容かく

都雅なる。蝶の名を喚空町源氏画様の奇麗よ愛する人あり

能もあらしむるや

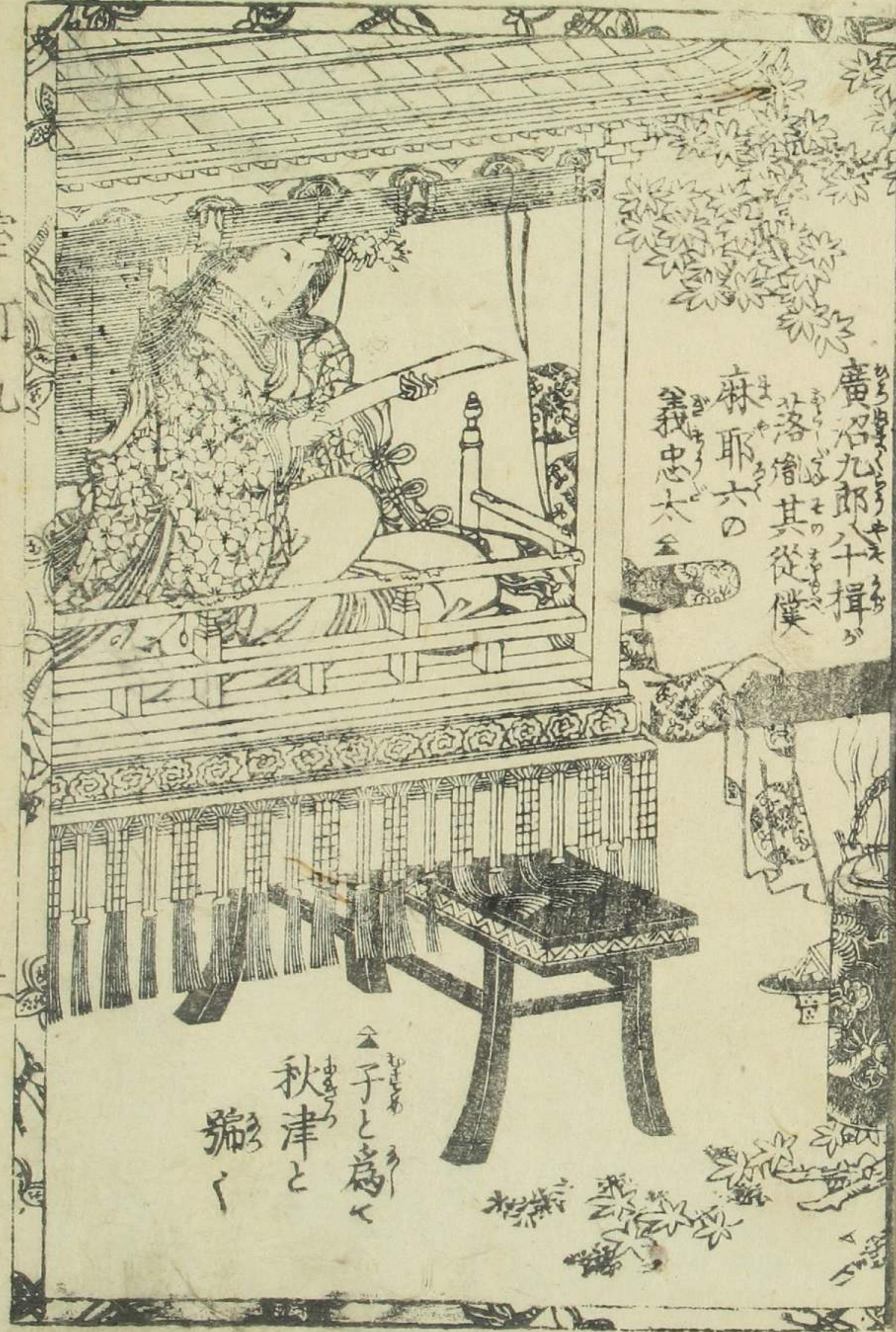
慶應三年開春

柳多種彦



室千太郎





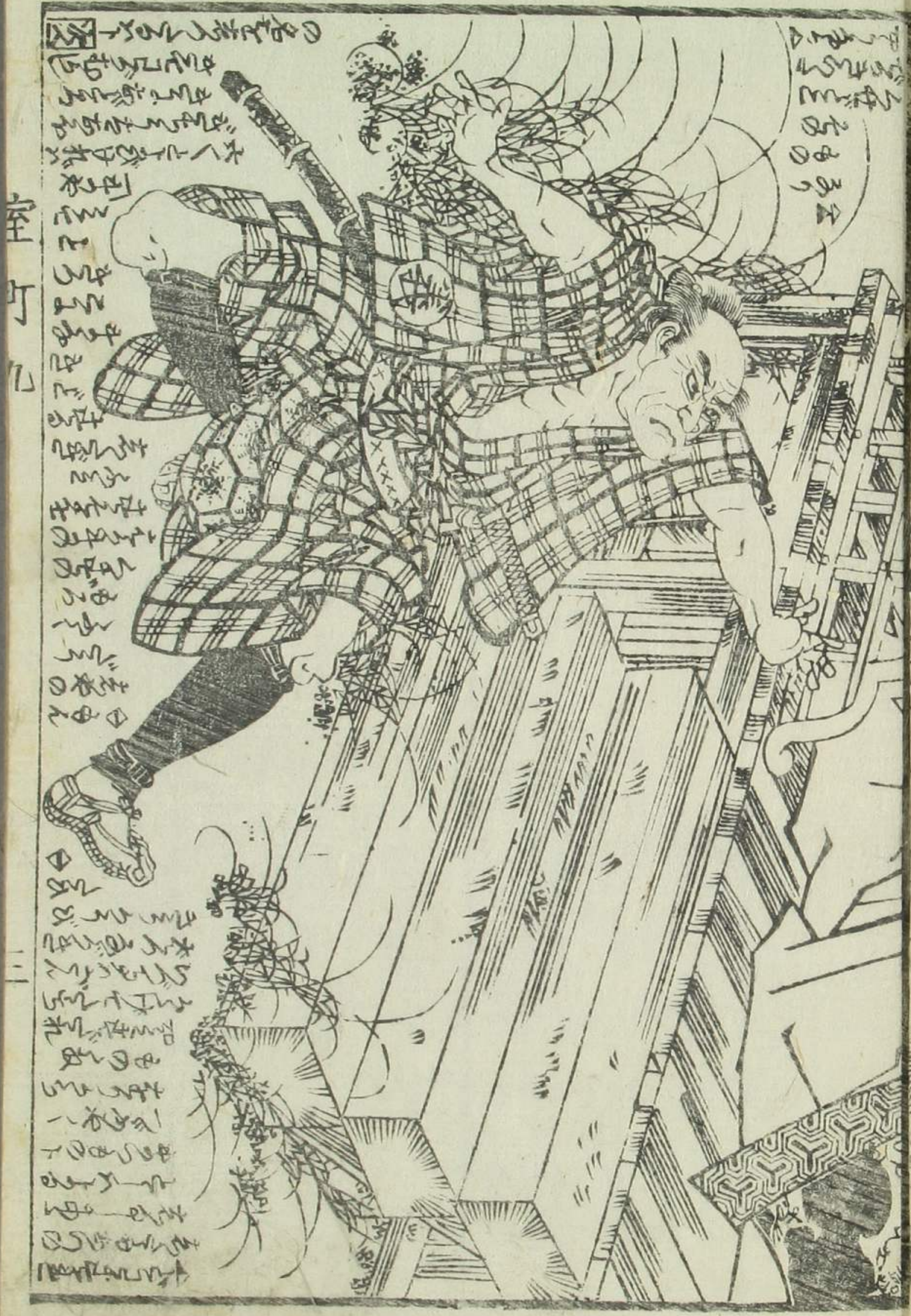
廣沼九郎十揮が  
 落着其從僕  
 麻耶六の  
 義忠太五

子と為く  
 秋津と  
 流く

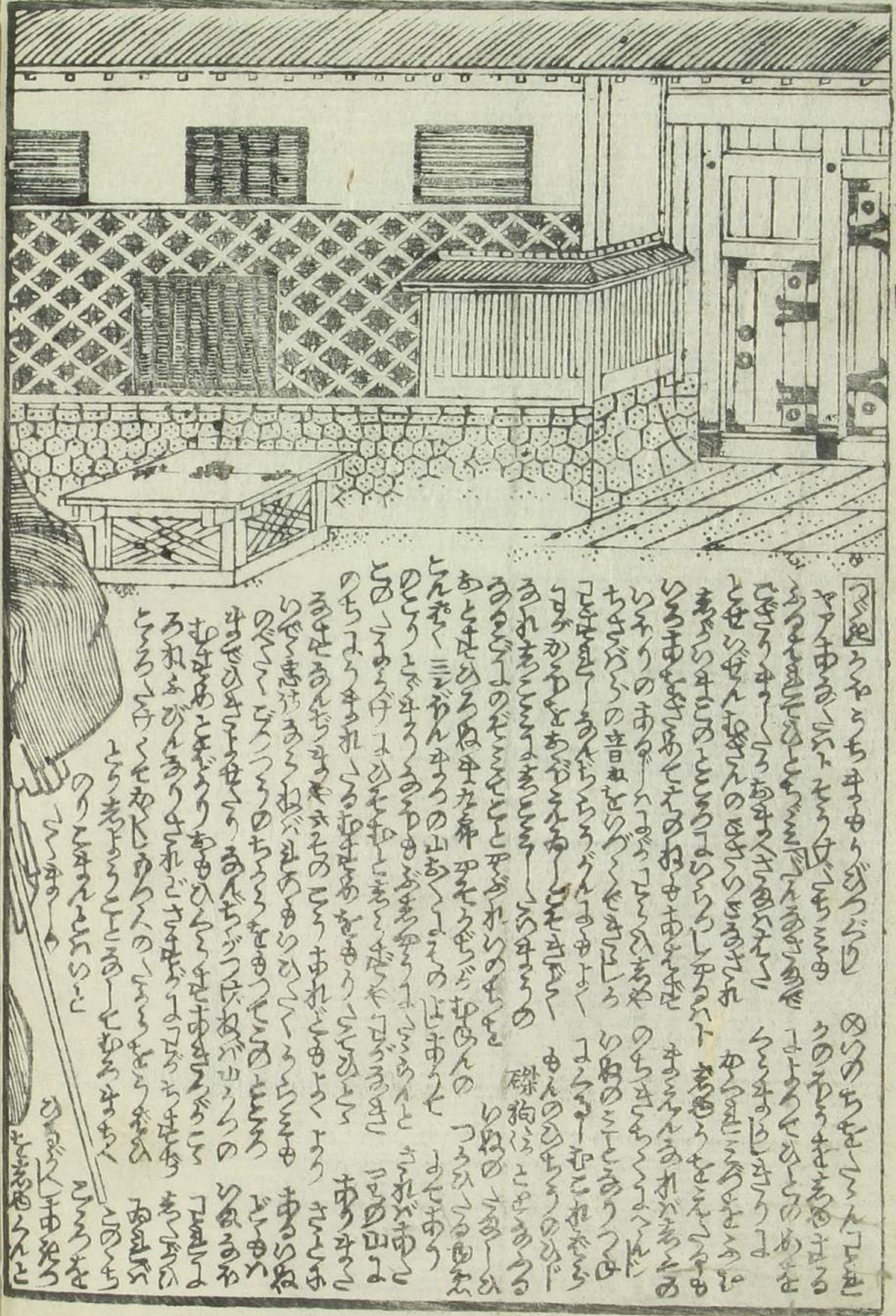


六條三筋町一文字屋  
 深窓小娼於譽茶實の  
 足利通詮御女化粧園姫  
 假子胡蝶とも呼













此の如く  
 山崎の  
 松竹の  
 水戸の  
 徳川の  
 江戸の  
 大坂の  
 京都の  
 奈良の  
 和歌山の  
 高松の  
 松山の  
 徳島の  
 香川の  
 岡山の  
 広島県の  
 山口県の  
 長門の  
 豊前県の  
 豊後県の  
 大分県の  
 宮崎県の  
 鹿児島県の  
 沖縄県の

此の如く  
 山崎の  
 松竹の  
 水戸の  
 徳川の  
 江戸の  
 大坂の  
 京都の  
 奈良の  
 和歌山の  
 高松の  
 松山の  
 徳島の  
 香川の  
 岡山の  
 広島県の  
 山口県の  
 長門の  
 豊前県の  
 豊後県の  
 大分県の  
 宮崎県の  
 鹿児島県の  
 沖縄県の

此の如く  
 山崎の  
 松竹の  
 水戸の  
 徳川の  
 江戸の  
 大坂の  
 京都の  
 奈良の  
 和歌山の  
 高松の  
 松山の  
 徳島の  
 香川の  
 岡山の  
 広島県の  
 山口県の  
 長門の  
 豊前県の  
 豊後県の  
 大分県の  
 宮崎県の  
 鹿児島県の  
 沖縄県の

此の如く  
 山崎の  
 松竹の  
 水戸の  
 徳川の  
 江戸の  
 大坂の  
 京都の  
 奈良の  
 和歌山の  
 高松の  
 松山の  
 徳島の  
 香川の  
 岡山の  
 広島県の  
 山口県の  
 長門の  
 豊前県の  
 豊後県の  
 大分県の  
 宮崎県の  
 鹿児島県の  
 沖縄県の



此の如く  
 山崎の  
 松竹の  
 水戸の  
 徳川の  
 江戸の  
 大坂の  
 京都の  
 奈良の  
 和歌山の  
 高松の  
 松山の  
 徳島の  
 香川の  
 岡山の  
 広島県の  
 山口県の  
 長門の  
 豊前県の  
 豊後県の  
 大分県の  
 宮崎県の  
 鹿児島県の  
 沖縄県の

此の如く  
 山崎の  
 松竹の  
 水戸の  
 徳川の  
 江戸の  
 大坂の  
 京都の  
 奈良の  
 和歌山の  
 高松の  
 松山の  
 徳島の  
 香川の  
 岡山の  
 広島県の  
 山口県の  
 長門の  
 豊前県の  
 豊後県の  
 大分県の  
 宮崎県の  
 鹿児島県の  
 沖縄県の

此の如く  
 山崎の  
 松竹の  
 水戸の  
 徳川の  
 江戸の  
 大坂の  
 京都の  
 奈良の  
 和歌山の  
 高松の  
 松山の  
 徳島の  
 香川の  
 岡山の  
 広島県の  
 山口県の  
 長門の  
 豊前県の  
 豊後県の  
 大分県の  
 宮崎県の  
 鹿児島県の  
 沖縄県の

此の如く  
 山崎の  
 松竹の  
 水戸の  
 徳川の  
 江戸の  
 大坂の  
 京都の  
 奈良の  
 和歌山の  
 高松の  
 松山の  
 徳島の  
 香川の  
 岡山の  
 広島県の  
 山口県の  
 長門の  
 豊前県の  
 豊後県の  
 大分県の  
 宮崎県の  
 鹿児島県の  
 沖縄県の











あつちのついでにのよつらぬ  
らんせいのまふくやと川よりあはし  
せんせられりてふもかたきや  
せむしきあふん  
貞和五年の



あつちのついでにのよつらぬ  
らんせいのまふくやと川よりあはし  
せんせられりてふもかたきや  
せむしきあふん  
貞和五年の

あつちのついでにのよつらぬ  
らんせいのまふくやと川よりあはし  
せんせられりてふもかたきや  
せむしきあふん  
貞和五年の



あつちのついでにのよつらぬ  
らんせいのまふくやと川よりあはし  
せんせられりてふもかたきや  
せむしきあふん  
貞和五年の

あつちのついでにのよつらぬ  
らんせいのまふくやと川よりあはし  
せんせられりてふもかたきや  
せむしきあふん  
貞和五年の

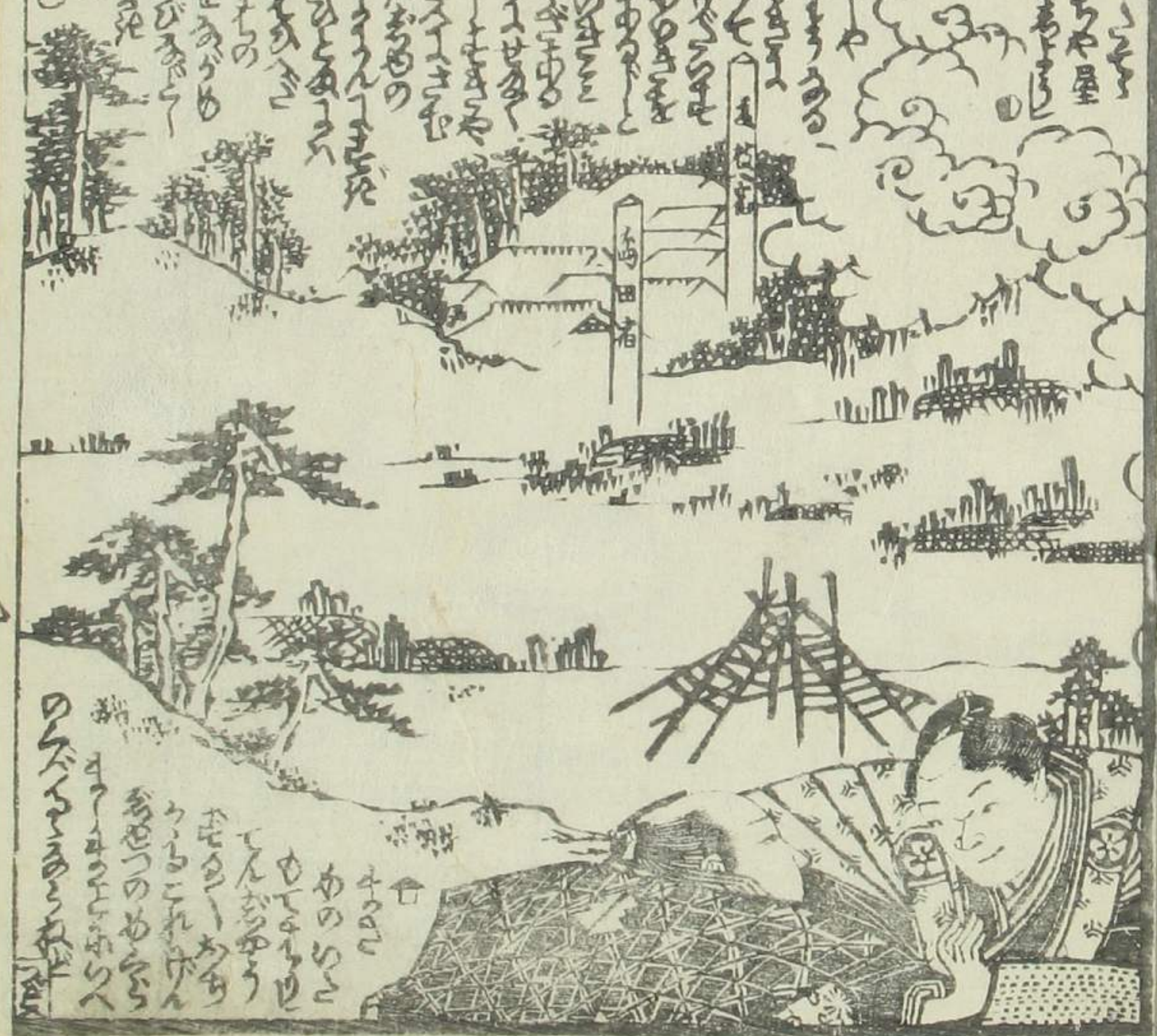


Handwritten text in the upper right section of the right page, written in vertical columns. The text appears to be a narrative or commentary related to the illustration below.



Handwritten text in the lower right section of the right page, continuing the narrative or commentary. The text is interspersed with stylized cloud drawings.

Handwritten text in the upper left section of the left page, written in vertical columns. It likely continues the story from the right page.



Handwritten text in the lower left section of the left page, positioned below the illustration of the woman. It appears to be a continuation of the text.









柳亭種彦作  
歌川國貞畫

### 實母散

本家  
松方実母さんの義中が、南ヶ丘の町一丁目西の  
を年来賣り、ある日、お寺の僧に、お寺の  
向ふの山に、お寺の僧に、お寺の僧に、お寺の僧に、  
中橋南傳馬町一丁目東の  
十葉堂孝輔製

### 新局九尾傳

四編より  
九編  
出板仕  
爲永春水作  
梅蝶樓國貞画

### 鼠洞通夜譚

初編より  
追々出板  
柳亭種彦作  
梅蝶樓國貞画

信列鼠の里ある和泉小僧と云少年鎌倉殿の脱逃三浦二階堂其  
諸大家ゆて許すの財寶と盗と名を高くせし物語耳新しき喜聞  
和列山辺氏の貞慶の事蹟小綴合せしもの高評と有

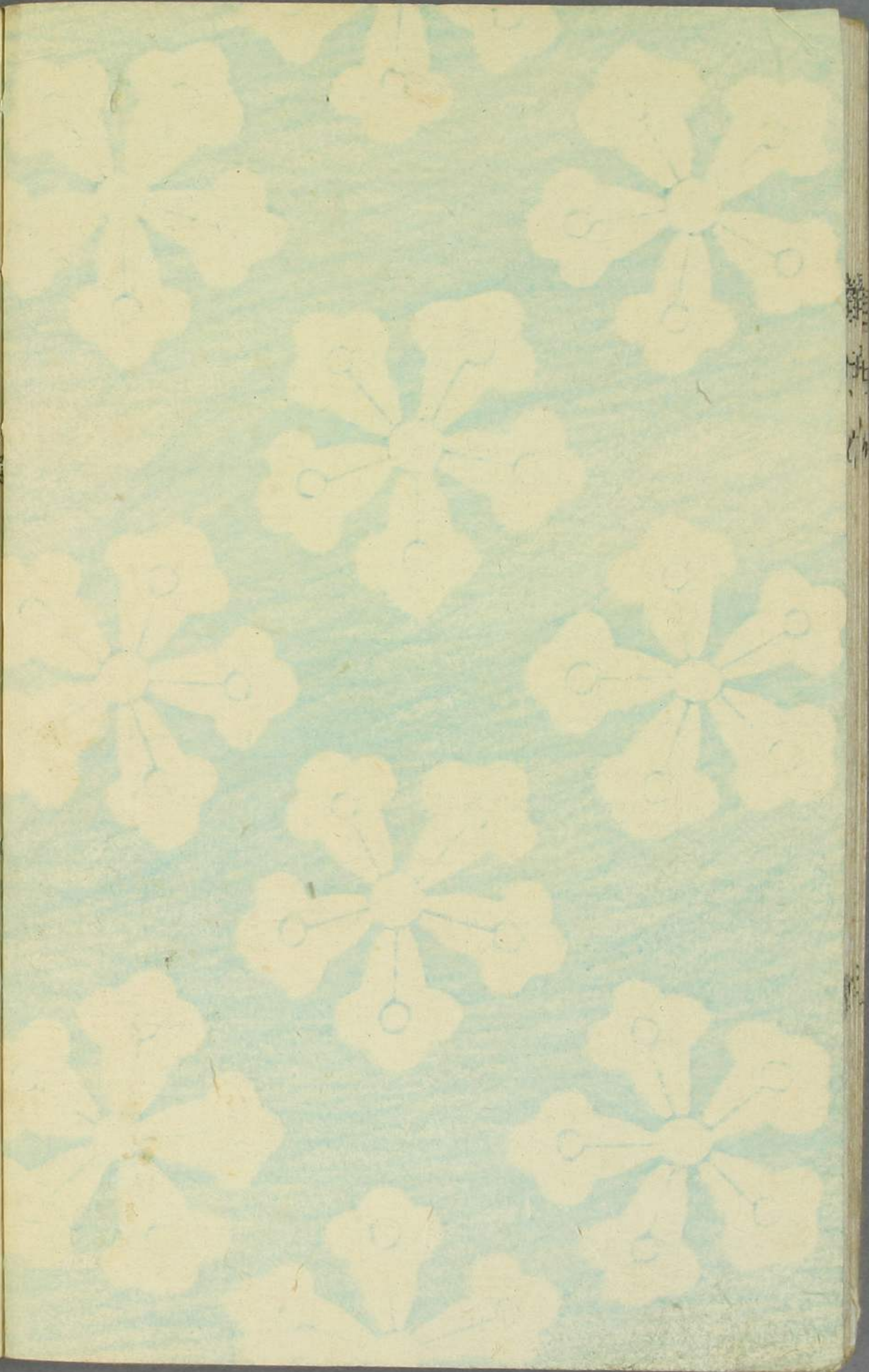




種彦作  
因貞画

二二二  
三三三  
四四四

九篇下



























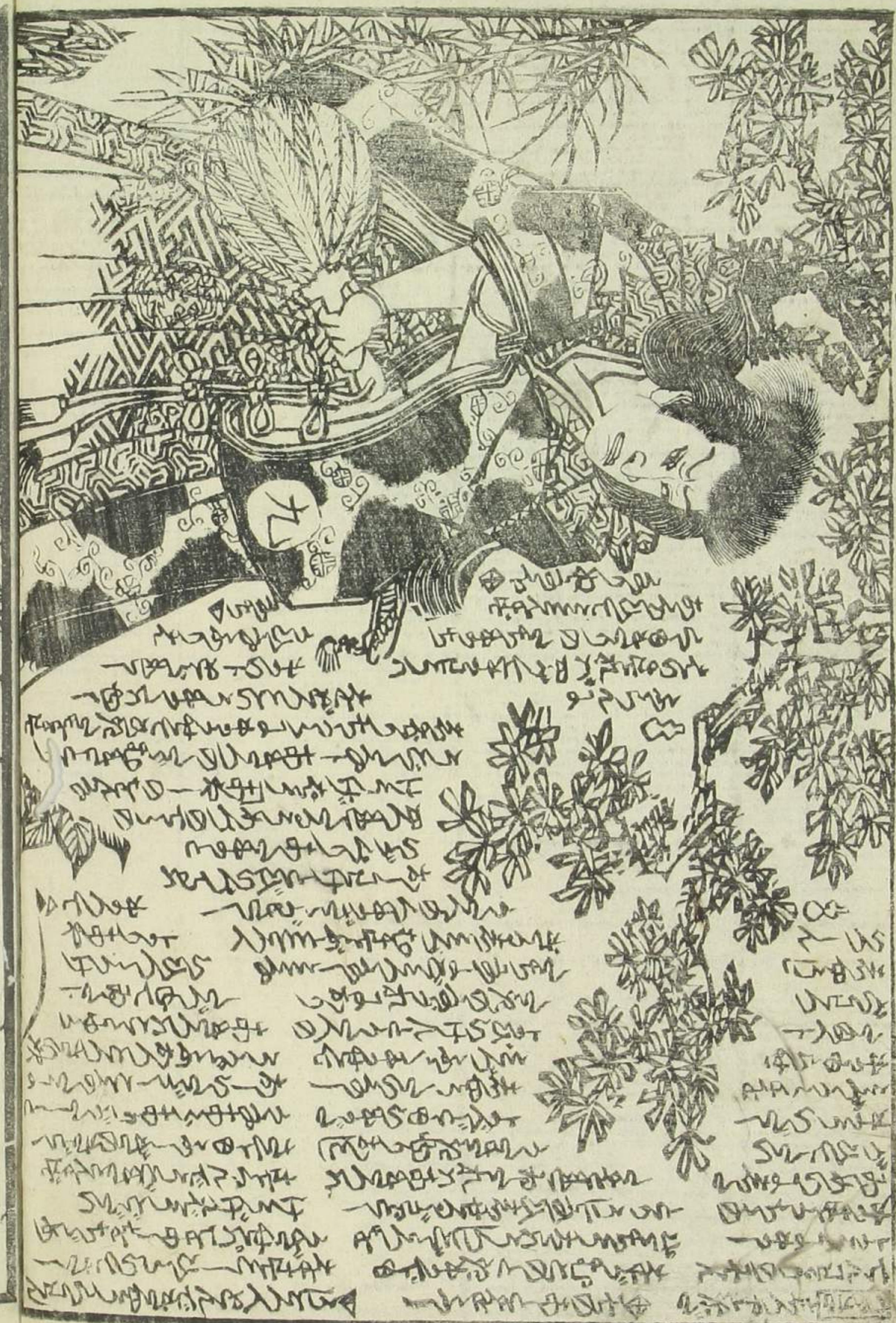




Vertical text in the top left corner, likely a title or chapter heading.

Vertical text in the bottom left corner, likely a caption or descriptive text.

Vertical text in the bottom right corner, likely a signature or artist's mark.



Vertical text in the bottom right corner, likely a title or chapter heading.

Vertical text on the right edge of the page, likely a page number or chapter indicator.

Vertical text on the right edge of the page, likely a page number or chapter indicator.













Handwritten text in a cursive script, likely a historical or medical text, located on the left page of the manuscript.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical or medical text, located on the left page of the manuscript.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical or medical text, located on the left page of the manuscript.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical or medical text, located on the left page of the manuscript.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical or medical text, located on the right page of the manuscript.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical or medical text, located on the right page of the manuscript.



# 柳亭種彦作



版主 紅英堂欽白

## 梅蝶樓國貞画

### 七好き草舖譚

六編より 柳亭種彦作  
九編まで 梅蝶樓國貞画

### 室町源氏胡蝶巻

編種彦作  
編國貞画

### 筆海四國聞書

編種彦作  
編國貞画

### 假名情談戀睡倉

四編如阜作  
大編國貞画

### 明鴉墨画通福福

編種彦作  
編國貞画

### 童謡妙々車

編種彦作  
編國貞画

### 花封谷呈音

編種彦作  
編國貞画

### 傳傳幻日記

編種彦作  
編國貞画

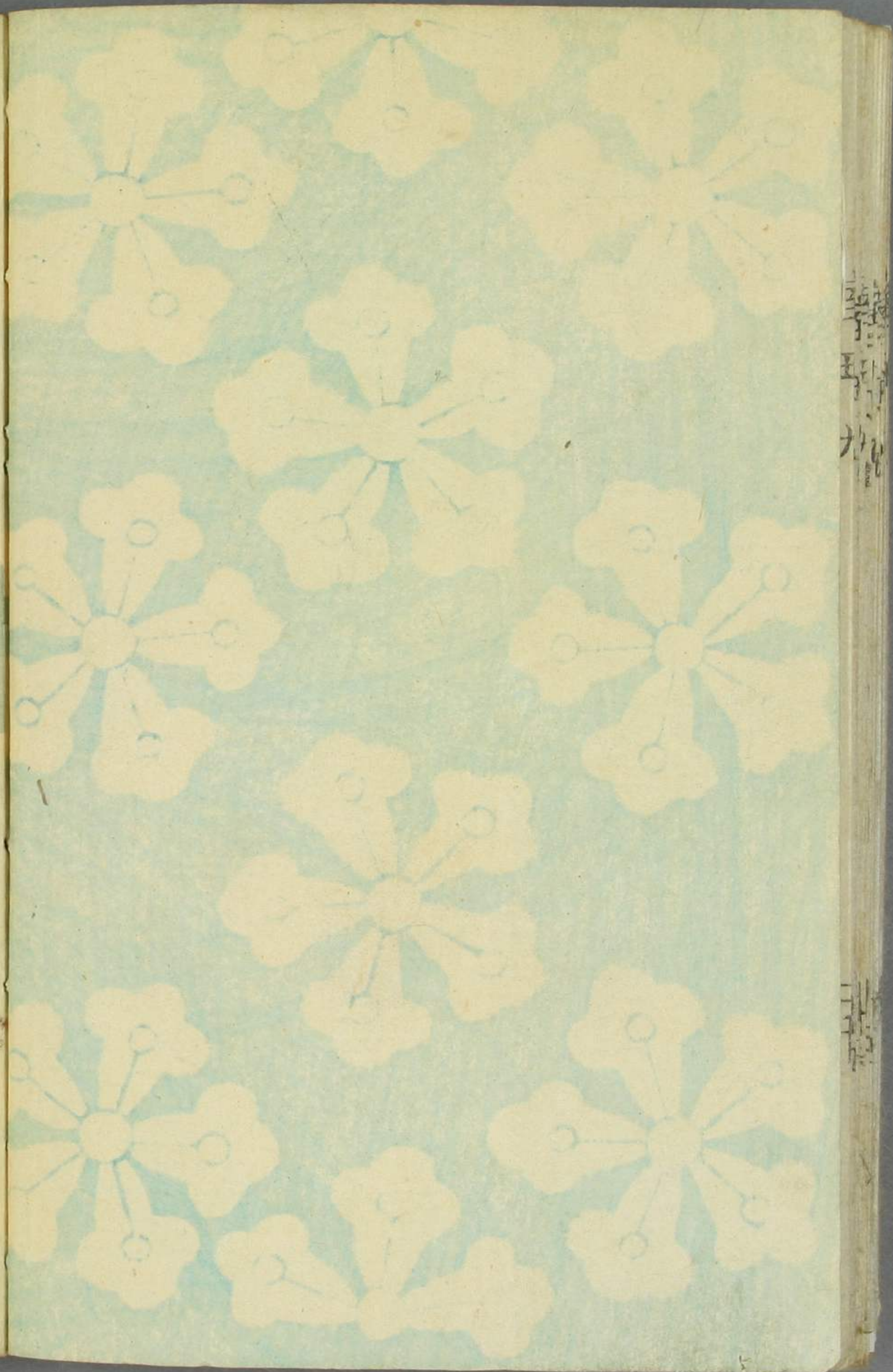
### 矢傳大の双紙

編種彦作  
編國貞画

### 地本双紙問屋

### 鳥屋吉藏板













立置八重栞

鹿園花亭



乙骨細次郎









あつちのきんぎょ  
こもむさうまを  
よろめだちまを  
牛乳だちまを  
かきまを  
らまを  
かまを  
かまを

あつちのきんぎょ  
こもむさうまを  
よろめだちまを  
牛乳だちまを  
かきまを  
らまを  
かまを  
かまを

あつちのきんぎょ  
こもむさうまを  
よろめだちまを  
牛乳だちまを  
かきまを  
らまを  
かまを  
かまを



あつちのきんぎょ  
こもむさうまを  
よろめだちまを  
牛乳だちまを  
かきまを  
らまを  
かまを  
かまを

あつちのきんぎょ  
こもむさうまを  
よろめだちまを  
牛乳だちまを  
かきまを  
らまを  
かまを  
かまを

あつちのきんぎょ  
こもむさうまを  
よろめだちまを  
牛乳だちまを  
かきまを  
らまを  
かまを  
かまを













あつちいふ  
くひのちうされ  
天のちあち  
りしきちあち  
あちいふ

あつちいふ  
くひのちうされ  
天のちあち  
りしきちあち  
あちいふ  
あつちいふ  
くひのちうされ  
天のちあち  
りしきちあち  
あちいふ  
あつちいふ  
くひのちうされ  
天のちあち  
りしきちあち  
あちいふ



あつちいふ  
くひのちうされ  
天のちあち  
りしきちあち  
あちいふ  
あつちいふ  
くひのちうされ  
天のちあち  
りしきちあち  
あちいふ

あつちいふ  
くひのちうされ  
天のちあち  
りしきちあち  
あちいふ







































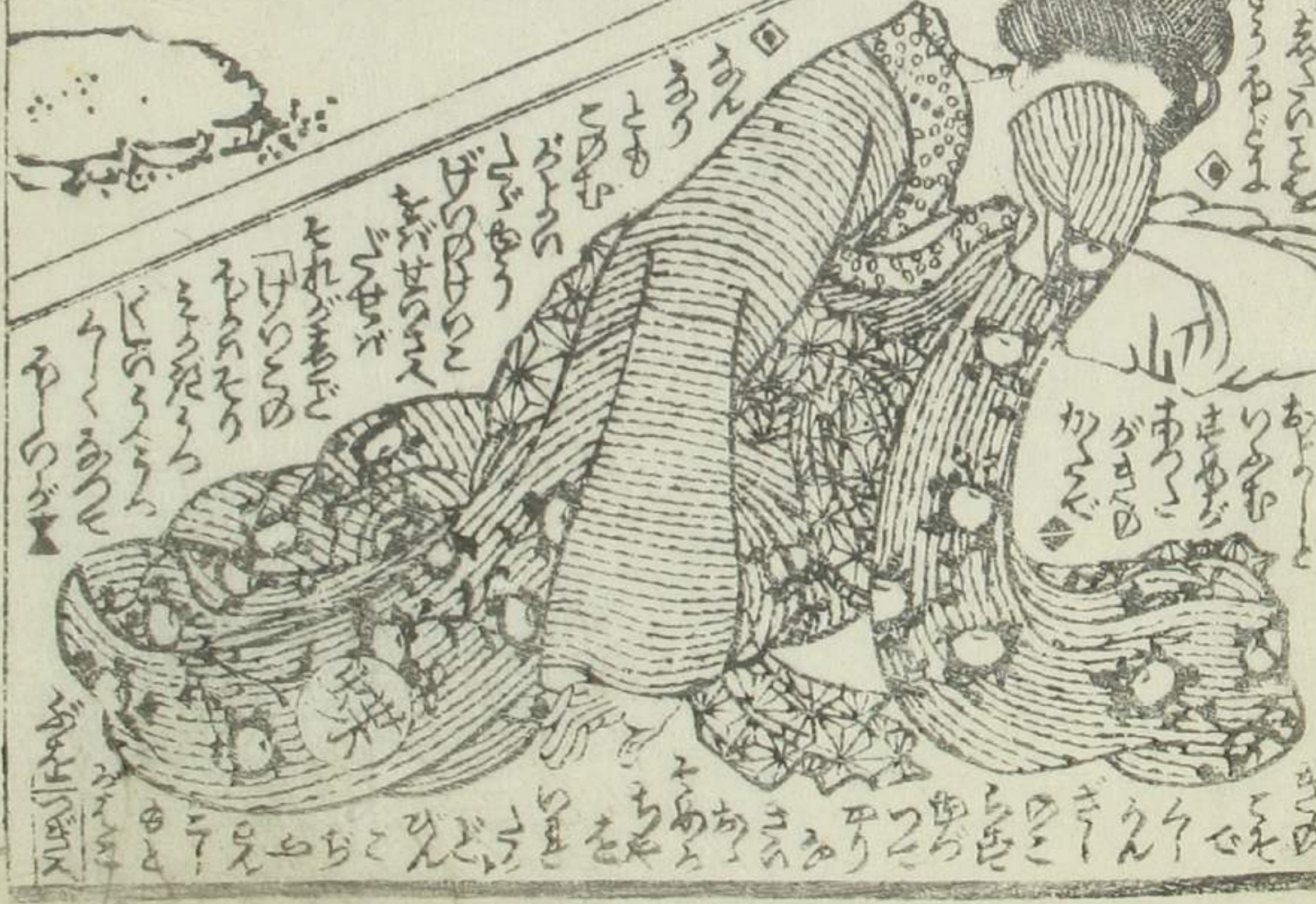
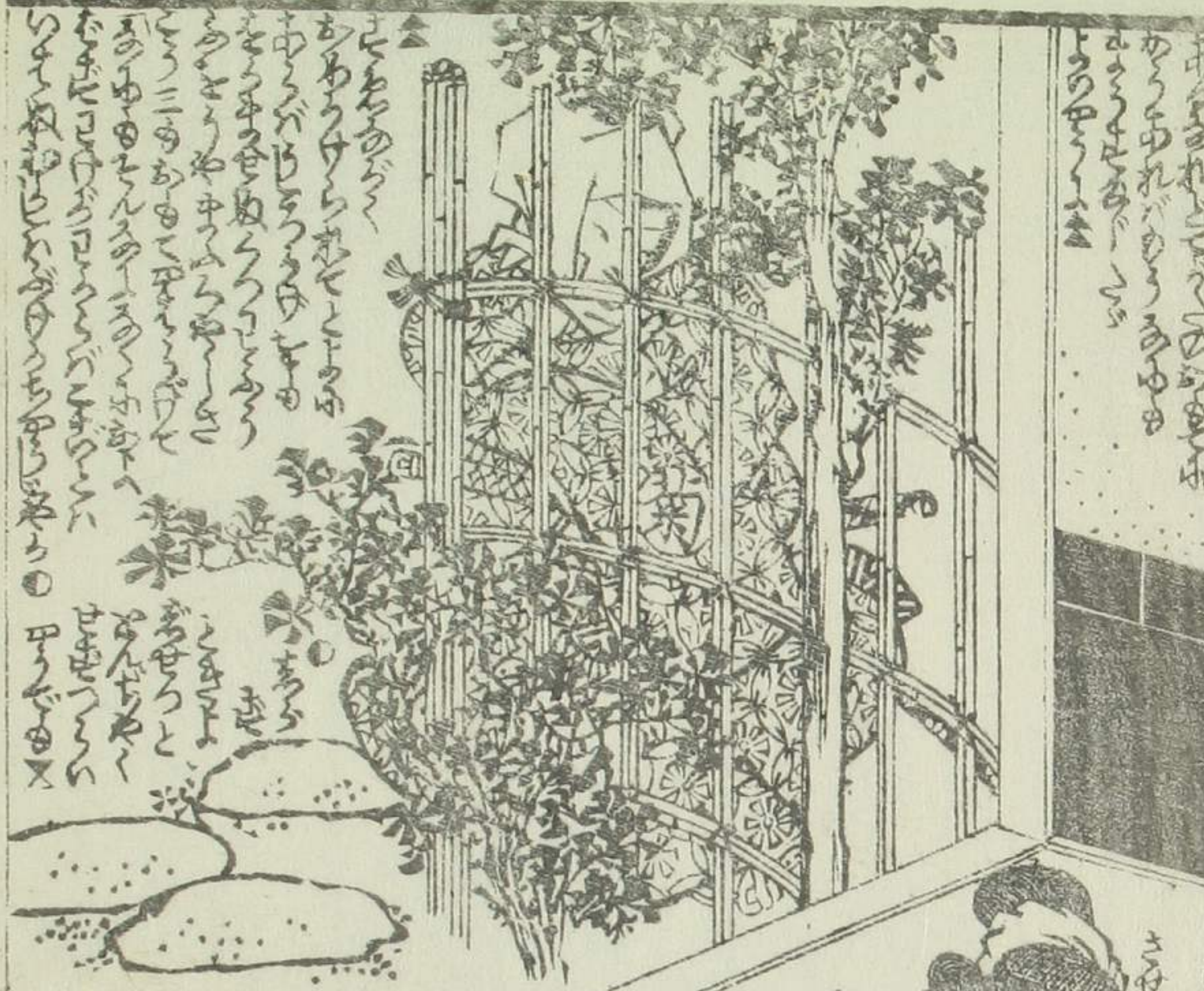
Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or chapter heading.

Vertical handwritten text on the right side of the illustration, likely a dialogue or narrative.

Vertical handwritten text on the right side of the illustration, likely a dialogue or narrative.

Vertical handwritten text on the left side of the illustration, likely a dialogue or narrative.

Vertical handwritten text on the left side of the illustration, likely a dialogue or narrative.



Vertical handwritten text on the left side of the garden illustration, likely a dialogue or narrative.

Vertical handwritten text on the left side of the man's illustration, likely a dialogue or narrative.





Vertical text columns on the right side of the top page, likely a dialogue or narrative. The text is written in a cursive style.

Vertical text columns on the left side of the top page, continuing the dialogue or narrative. Includes a small circular seal.



Vertical text columns on the right side of the bottom page, continuing the dialogue or narrative.

Vertical text columns on the left side of the bottom page, continuing the dialogue or narrative.



















種彦著國貞画



新局九尾傳

七編より 爲水春水作  
十一編まで 梅蝶樓國貞画

室町源氏胡蝶卷

十二篇 種彦作  
十四篇 國貞画

假名情談戀睡倉

四編 如阜作  
大尾國貞画

童謡妙々車

北二編 種彦作  
廿三編 國貞画

薄倖幻日記

十七編 春水作  
十九編 國貞画

七娘葛飾譚

九編 種彦作  
十一編 國貞画

筆法海四國聞書

十三編 種彦作  
十五編 國貞画

明鴉墨画通福福

十三編 種彦作  
十五編 國貞画

花封苔玉草

十編 種彦作  
大尾國貞画

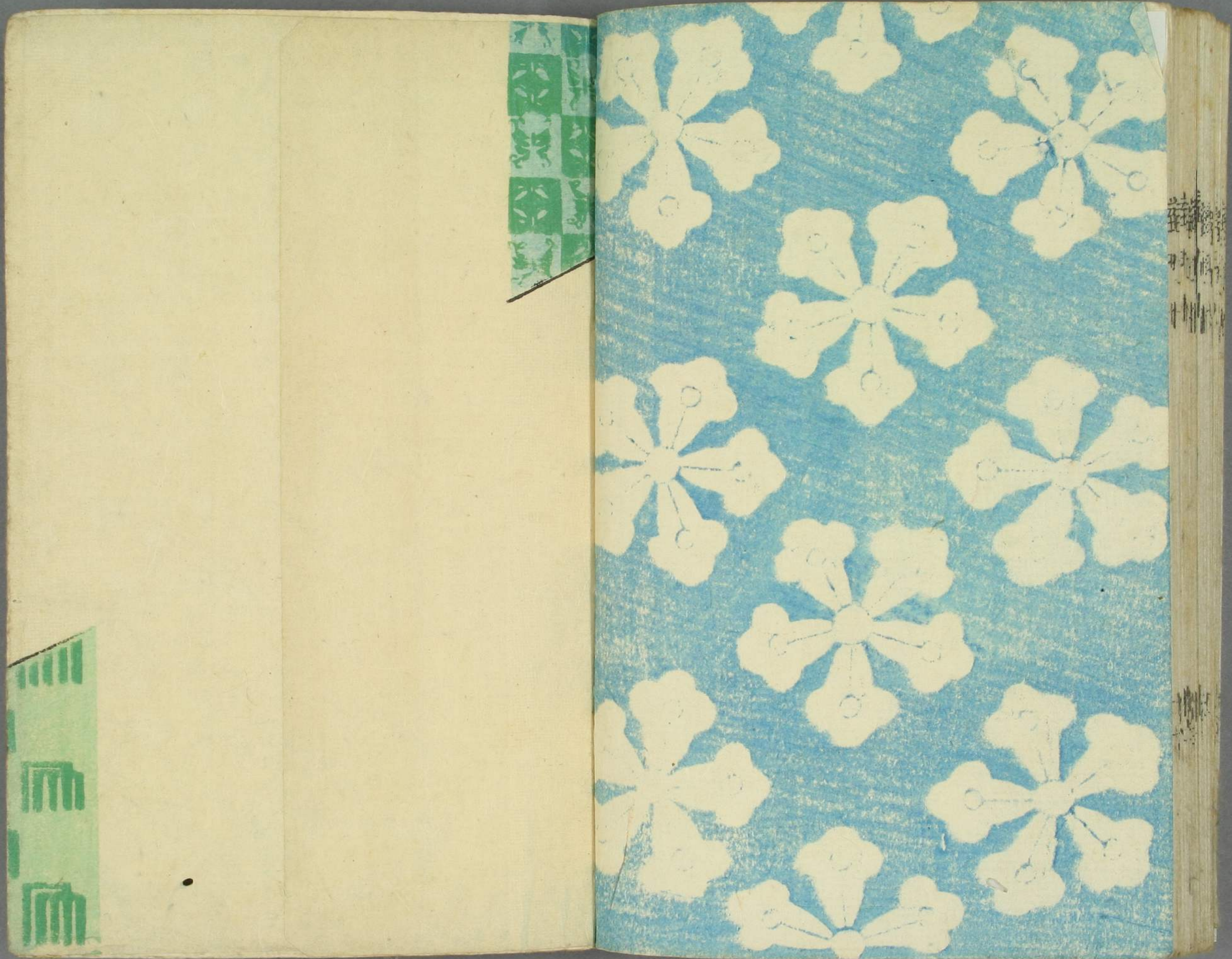
犬傳犬の双紙

四十九編 柳高録  
五十一編 國政画



南傳馬町壹丁目  
葛屋吉藏板







室長女

胡了

十第

種

國身

